夕刊
磐城時報
一日
福島縣石城郡平町錦屋町十四
編輯兼發行 印刷人 岡田弘成
福島縣石城郡平町錦屋町十四
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町錦屋町十四
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

平・平窪村の合併 愈々確實となる
八對四で委員成立 正式村會は本月中「

平窪村では既報の如く三十日村會を開き平町と合併する件について協議した結果平窪村有林三百五十町歩は合法的に存置出來る事が判つたのでその手續きを行つて合併する事となり賛否を起立に問ふた結果八對四の絶對多數で合併案が可決され平町との交渉委員を全村議とする事となつたが、合併反對派の吉野喜惣太、木田源宗、上妻万次郎、薄葉竹松の四氏は委員を辭したので殘る村議八名を委員とした、その第一回委員會は三十一日午後一時から開き種々合併の具体案について協議を遂げ三十一日更に委員會を開催し協議中であるが決定次第平町と正式の交渉を開始する筈で正式合併の兩町村會は二月十五日前後に開事になる模様である

十一日の建國祭に 平町で愛國行進
五日具体的の協議

平町では來る十一日の建國祭に關し五日午後一時から平町役場に在郷軍人會、軍友會、青年團、青年學校、中小學校長、平署長、愛國婦人會、國防婦人會、消防組の各種團体を招き催ほしについて打合せる、その腹案は大体昨年同様第一校庭で學生生徒並に前記各種團体が列席し擧式の上三班に分れて町内を行進し建國の趣旨を徹底する。

若葉會で けふ溫習會

平町義太夫若葉會では一日午後六時からマルトモホールで演奏會を催ほすが入場無料、語物左の如く、東京から元大阪竹本座付の喜久太夫來演する筈で、語り手喜久太夫が三味線を彈き、六太郎師が語るといふので興味をそゝつてゐる

仙臺萩（キヌ子）寺小屋（才司）合邦（夏井）河庄（瓢）合邦（錦祥）忠臣藏（六市）柳（六太郎）太功記（喜久太夫）

▲學務委員會

平町學務委員會は三日午後一時から開き十二年度豫算を附議する。

▲平窪信用總會

平窪村信用購買組合では三十一日午後一時から村役場に第十六回總會を開き事業報告並に貸付評定委員十二名を選任した。

自給肥料 委員辭令

渡邊村では一日午前十時から村役場に自給肥料實行委員の辭令傳達式を擧行し終つて第一回協議會を開く。

▲土木委員會

平町土木委員會は一日午前十一時から開き明年度事業について協議した。

小豆畑合宿所 會社直營とする

磐城炭礦宮小豆畑合宿所の移轉を前提として新築改築を急ぎつゝあつた綴濱井場の合宿所は落成去る十四日に至り突如同所の移轉に對し會社側では淺野社長の意志に依る理由を以て變更會社直營として合宿所經營の發表をなすに至り十六日早くも二十六名の收容を見るに至つたが會社が突如直營合宿所の經營に付いては坑夫の入坑率を積極的に良好ならしめ坑夫從業員の食糧費補助を從來收容人員一名に對して金五錢を入坑者に限り七錢に引上げて補助支給する事になつたが賄費、待遇、入坑に至つては全くデリケートな問題として會社並びに合宿經營者の常に研究、考慮されつゝある問題であり、合宿所中には全く不合理な經營に依つて收容從業員に對して經濟的な支出を多からしめる等賄費の減▲を計つて利益を得る等の弊害も生じられつゝあつた關係から會社も入山、古河等の直營經營視察の上此の擧に出たものとの事であるが直營合宿▲の出現は各方面から經營動向を注視されて居る

山林盜伐の告訴 實は境界爭ひ

箕輪村大利農遠藤勇（五四）大和田常吉（六三）の兩名は同村農新妻一郎（四八）から平署に森林窃盜で告訴された、兩名は昭和十年末新妻が同村明智銀三に賣却した同村地内山林三反歩の立木を伐採したといふが取調の結果境界爭ひによるものと判明し引續き取調べ中である。

産馬組合 基本調査

石城産馬商産組合では過般來三森技手により馬政第二次計劃の基本調査を進めてゐたが、上遠野村外數ヶ村を完了。殘餘の分は左記日割により明二日から續行するが、今月下旬頃完了する

二日田人村上黒田、三日同村下黒田、四日同村出旅人、五日南大平、六日荷▼夫、七日貝泊、九日田人村入田人。

石城郡農會總會

石城郡農會では來る四日平團体事務所に評議會、翌五日總會を開き豫算並に評議員一名の補欠選を行ふ。

▲卓球大會

平第三校では二十一日午前九時から同校講堂で石城郡下卓球選手權大會を開く。

鐵管を盜み 酒をのむ

平町仲間町四〇無職津野文三は去月二十九日午前九時頃平機關庫から鐵管一本價格三圓を窃取しこれを同町古物商黒瀬千治へ五十錢で賣りコップ酒をあふつてゐる處を平署に捕はれた。

磐城共濟病院 平病院と改稱

永らく平地方に於ける保健衛生の殿堂として地方の診療に從事しつゝあつた磐城共濟病院も種々な曲折を踏んで來たが、今回いよ〳〵根本的に其の組織内容並びに名稱を改め拾數年福島市大原病院に勤務してゐた三春町出身の醫學博士鈴木定藏氏が一切を引受け大原病院後援の下に平病院と改稱綜合病院として各科を完備し開院する事となり目下縣に手續中で近く許可あり次第大々的に診療機能を發揮する筈で大に期待され居る

小唄を歌つて 物乞ひする娘
母から説諭願

今一日朝九時頃平署に小娘の手を曳いで訪れた五十女が「氣儘な娘を説諭して下さ」いと願ひ出でた、この母親は内郷村御厩日雇業高木トミ（五〇）と長女トミ子十二の兩名でトミ子は父親の捨藏（五三）が怪我をして不具になつたので母親の目を盜んで飛び出し小名濱方面迄出かけては附近を流行歌を歌ひ歩き物乞ひするといふので世間体を恥ぢ平署に願ひ出でたものであつたトーとし價格低廉に賣つてゐるので好評を博してゐる

安藤商店で 木炭小賣

平町仲町木炭商安藤金治氏は從來自分で製造した木炭を東京方面に卸賣をなしてゐたが、今回仲町自宅に小賣店を開業。一般の需要に應ずる事になつたが、製造家から直接需要家へをモツトーとし價格低廉に賣つてゐるので好評を博してゐる

四倉署長 盲腸を病む

四倉警察署長薄葉捨吉氏は去る三十日午後五時頃盲腸炎で本町木村醫院に於て手術をしたが、二週間を要する見込である。

四倉大工 二割値上げ

四倉町並に双葉郡久の濱町の兩町大工組合では近く總會を開き工賃約二割の値上げをする。

漁船から シャフトを盜む

四倉町新町漁業家菅波末吉氏所有揚操船第一稻荷丸機關部内より同船用のシャフト價格四百圓及び附屬品を去る十四日より二十四日までの間に窃取せられてゐるのを發見し四倉署に届け出たが同シャフトは重量約十餘貫にして一人の者にては運搬上困難なので窃取人は二三名共謀ではないかと見られてゐるが目下四倉署にては犯人並に機關具の行衛を捜査中である。

和田耳鼻咽喉專門醫院

生活を苦にして 大久川に投身

双葉郡久之濱町字後三松二九番地生れ無職柿崎常三郎（六二）は昨三十一日午前九時三十分頃大久村大久川堤防用地内に死体となつてゐるのを柿崎宙吉が發見し四倉署に届け出た、原因は家計困難其他の事を悲觀したものであると、死体は木村部長檢視の上家人に引渡した

喘息を苦に 老人縊死

四倉町字新町五十九番地居住牛馬商鈴木春吉（七五）は一昨三十日午後九時三十分頃自宅前で縊死してゐるのを二男春美が發見し四倉署より木村部長出張檢視の上春美に死体を引渡したが約一ヶ月前より起つた喘息病を苦にしたためである

◉舊歳末福引大賣出し

二月三日ヨリ七日間
舊十二月二十二日

◉御買上の絶好機
平吳服商組合加盟店へ

◉御仕着セ御贈答品
……豐富取揃へ

◉各店競ツテ特價品の山
一金貳圓毎ニ福引券呈上

◉各店思ひ〳〵の
◉大福引大景品

贈ツテ便利 商品券 受ケテ重寶

組合加盟店（イロハ順）

二丁目 伊關吳服店
四丁目 小野榮吳服店
土橋 渡邊吳服店
白銀町 川又商店
鍛冶町 吉田屋吳服店
新川町 谷屋吳服店
搔槌小路 松屋吳服店
古鍛冶町 安積屋吳服店
研町通り 北川吳服店
三丁目 三井吳服店
新川町 諸橋吳服店
一丁目 仙臺屋吳服店

平吳服商組合

木炭店 開業廣告

拙者製造の木炭は從來卸炭のみ致して居りましたが、今回左記に
小賣部を設置致しましたから多少に拘はらず御用命下さい。
生産者から直接需要者に渡るものですから價格、品質、凡てに於て御德用ご存じます。

電話六九四番へ

平町仲町
安藤商店
電話六九四番

國華ポマード颯爽たり

皆様の美容室『理髪東京』は『オールサービス』の滿全を期し國華ポマードを初め全部高級化粧品を使用し行届いた技術と共に奉仕致して居ります。

帝國美容師會々員
東京國華會 バーバーチエン
理髪 東京

大型貸切の御相談は

尼子タクシー
電話六四〇番

塩豚

コンボーク
平町田町
三二三屋
電話三二三番

カクテール、イワキタヒラ、デン352
レストラン サロン

吸入用酸素

度純99%

度量衡
モノサシ
ハカリ
マス

計量器
体温器
寒暖計

◉秤ノ取緒（ハカリトリヲ）・錘糸（タマイトトリカヘ）・修覆致シマス

◉寫眞機材料一式

關内藥局
電話四〇番

夜間診療

胃腸
内科
胃腸病科

性病
花柳病科
性病科
泌尿器病科
皮膚科
肛門病科

專門
松村胃腸性病科醫院
平町南町（電一〇七番）

モーター附

九	ミ	リ	半	が
參	拾	九	圓	で
買	へ	る	×	×

電話下されば機械持參店員が説明申上ます。

（電話3番）
平町二丁目
西村屋藥局
カメラ部

ポニイモーター
撮影機
F 3.5—¥39.00
F 2.9—¥58.00

産科 婦人科 花柳病科

井坂醫院
平町田町（電話五五九番）

開業廣告

齒科一般

平町田町（安濟醫院向）
齋藤醫院
東京齒科醫學士 齋藤賢三

産科 婦人科 外科 藥局

院長 木村寅次郎
醫學博士 内木宗八
藥劑師 大岩俊雄

入院隨意
病室完備

平町新川町十九
木村病院
電話一六四番

診療科目

一、齒科一般
保存科
補綴科
繼續架工科
齒列矯正科
小兒齒科
齒槽膿漏科

一、口腔外科
一、レントゲン科

中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日本齒科醫學士 西川誠

平町田町（松月堂向）
電話五〇九番

看護婦至急募集